

平成20年度第4回子育て・環境・魅力づくり部会摘録

開催日時 平成21年1月13日(火)午後6時～8時

会場 幸区役所4階保健所相談室

参加委員

専門部会B委員：今井部会長、神谷副部会長、石野委員、酒井委員、佐藤委員、庄司委員、菅野委員、沼田委員、深瀬委員、松脇委員

事務局(企画課)：渡邊課長、小池主査、北村主査、小出主任、齊藤職員、吉田職員

(地域振興課)：松本課長、平川課長補佐

議題

1. 「地域コミュニティ活動推進」の部会のまとめについて
2. 幸区民フォーラム2009の開催について
3. その他

1. 「地域コミュニティ活動推進」の部会のまとめについて

(今井部会長)

・昨年12月11日の区民会議では、表の資料1の1ページの右上にあるとおり、大規模マンションの地域コミュニティ活動の促進として提言を行うため、具体的な取組として、(取組1)取り組みを広げるため、町内会・自治会の魅力、必要性を伝える、(取組2)大規模マンションの町内会・自治会加入実態を把握する、を全体会議で報告し、意見をいただいたところです。いただいた意見を踏まえ、本日の部会では2月26日の区民会議に提言として整理できるように、部会のまとめについて検討していきます。次に、残りの時間でさいわい区民フォーラムの内容について、皆様からご意見をいただきます。それでは、はじめに前回の区民会議の内容を確認します。資料1にまとめてあるので、神谷副部会長から内容の確認をお願いします。

(神谷副部会長)

資料1の内容報告。

(今井部会長)

- ・補足説明はありますか。
- ・事務局から資料が提出されているので、説明をお願いします。

(事務局)

資料説明

(今井部会長)

・事務局から資料について説明がありましたが、何か質問はありますか。川管ネットに入っている4つは、すでに町内会に加入しているということですね。

(事務局)

・川管ネットを通じて情報発信しても、加入しているところに伝わるだけということになります。

(今井部会長)

・審議テーマ「地域コミュニティ活動の推進」の検討の方向性に沿って、具体的にどのように取り組んでいけばよいか、第3回区民会議に向けた部会のまとめが行われるように話し合っていきたいと思えます。部会報告のまとめとして、2つの取組内容ごとに、皆さんからご意見を伺います。検討の方向性は、大型マンションの地域コミュニティ活動を促進することです。そのためにも、町内会・自治会の魅力・必要性を伝えることが必要です。はじめに、取組1の町内会・自治会の魅力・必要性を伝えるために、町内会活動のPR冊子を作成します。また、対象者別(マンションの管理組合役員向けと住民向け)に冊子を分けて伝えることが効果的です。ホームページで情報発信するということになっていますが、より具体的な取組として、PR冊子やホームページの内容についてどのようなことが必要か、意見をお願いします。PR冊子については2通り必要であるということがすでに意見として出ており、ホームページについても、ただ作った名刺のようなものではなく、リアルタイムに活動の楽しさを伝え、活動を見せるような工夫が必要という意見は既に出されています。他に、具体的な取組としてどのようなことが必要か、みなさまのご意見をいただきたいと思えます。冊子については行政が作るのか、あるいは町内会がこのようなことを盛り込んでほしいということで主導するのか、ということもあると思えます。より魅力的なPR冊子やホームページを作るために、具体的な方法についてご意見はありますか。

(佐藤委員)

・冊子は行政が作らないと。全町連全体で作るとしても、マンション加入に役立てるのであればいいのですが。もう作っているのではないですか。

(事務局)

・管理者向けのものは全町連で作っていません。個人向けのものを作っています。管理者向けのものを作る予算については、今後調整する必要があります。

(佐藤委員)

・ここで出たことが全町連全体として、市内にたくさんあるマンションの入会活動の一環として進めば、幸区も使えるし、よその区でも使えるので、それは作ってもらえればよいのではないのでしょうか。それは幸区だけでやっているわけでないですよ。町連で進まなければ幸区だけで作り、幸区を見本にして全町連も作る、としなければ意味がありません。それはできますよね。費用はありますよね。全町連からもらうのではなく、区の協働推進事業で出せるのではないですか。

(事務局)

- ・市民・こども局と相談して進めている部分もあります。それと全町連も小さい冊子を発行しています。取組はしていますが、その話とドッキングという形でよろしいでしょうか。

(佐藤委員)

- ・予算は全町連の予算と各区の予算は別だから、各区から予算を吸い上げて市全体として作るのですか。

(事務局)

- ・市民・こども局で手当してくれているので、7区統一のものを考えています。

(今井部会長)

- ・その対象はどこ向けですか。

(事務局)

- ・対象は2通りという話でしたが、管理者向けという形ではありません。転入者に対する案内、紹介の分は全町連で作っています。それと同じような内容のもので、各町内会で配ってもらうものについては、各区の町連の予算で作ってもらいます。内容としては、転入者や個人が対象のものを全町連が作っていますが、管理組合役員向けというものは作っていません。これを作っていくということになれば、協働推進事業費で使えるのか、または町連の方からいただいて作るのか、それは検討していく必要があると思います。

(今井部会長)

- ・先ほど、神谷副部会長からの説明で思いましたが、どういうものが必要なのかを私たちが話し合うのではなく、町内会の方から、具体的に、こういう感じで、こういう文面で、こういうものがあるとよい、こういうものが必要という声を聞いて作った方が一番よい気がします。住民向けのものはあるので、それはそれで使っていけます。

(事務局)

- ・これから作ろうとしているところです。

(今井部会長)

- ・ご案内というものが今までありました。

(事務局)

- ・それをバージョンアップして、少し新しくして作ります。

(今井部会長)

・この間の話し合いで、管理者向けのものがあつたら出してもらいたかったという意見が出ていたと思います。その方が説明しやすいということでした。

(事務局)

・新しく町会を作るためのノウハウのようなものです。それは地域振興課である程度作ったものがあります。ただ、それは文字の羅列みたいな形なので・・・。

(今井部会長)

・それを見ていただいて、活用しにくい、文字の大きさが小さい、写真が少ないといったご意見をいただいて、よりよいものをという感じで・・・。

(事務局)

・それを見て新しい町会がどういう役員が必要とか、そういうことまで書いてお渡ししました。それを参考にして、町会を新しく立ち上げたという成功事例があります。

(佐藤委員)

・話が2通りあります。今まで作っている町内会に加入しようという一般的な住民に対するPR。もうひとつ、団地の中で自治会や町内会を作ろうというときに、作り方がわからない場合に必要なもの。これをもっとわかりやすくしたものを、幸区独自で作ればよいと思います。町内会に入りましょうというパンフレットは確かにありますが、あれは少し簡単すぎるから、もう少し詳しくしてあげれば、各住民に配れますよね。配っても、「入らなければいけない」だけで終わってしまいます。管理組合の会議の中で「自治会を作れ」という声があり「それではどうしようか」という時に、町内会、自治会を作る時はこういうパンフレットがあり、こういう役員を作り、行政とはこういう関わりがあるということを教えることが必要だと思います。全体的なものは町連が作っているから、幸区の場合は、管理組合に「自治会はこのような方法で作れますよ」「町内会はこのように入れますよ」というものを作ってあげれば、大変参考になるでしょう。

(今井部会長)

・あとはPR冊子を作成するというので、紙媒体だけではなく、もうひとつ情報発信の手段としてホームページという話が出ていましたが、それは準備が進んでいるのでしょうか。作りまして終わらず、さらに魅力発信の手段としてどのように使っていくかが問題として出てくると思います。

(佐藤委員)

・そのために実態調査をしてほしいと言いました。この実態調査のことは、先日課長が町連にこのような調査をしたいという説明をしていました。「何でそんな・・・」という話になりましたが、それは町内会、自治会を作ってもらうためだということで、ほとんどの人がそれはすべきだと言っていました。

その中の意見として出たのは、小さい規模のはどうするのかということでした。大きいものばかりでなく、20～30世帯の小さいものもあります。そこは町内会に入ってくれず、管理組合がありません。そういう人たちには個々に町内会に入ってもらおうという方法もあり、大家さんが、賃貸の場合、会費300円では高いといえます。なぜかという、会費は集めるが、賃貸は出入りが多く、出て行った場合も払わなければならないので、賃貸は300円ではなく100円くらいにしてほしいという意見もあります。入ってくれば100円でもよいと思います。情報が流れるので、そういうところも調査の中に入れてほしいという意見が御幸町連からでていました。そういうところは調べてもらった方が次のためになると思い、調査に入れてほしいと申し上げました。

(沼田委員)

・私のところには小さいマンションが10月にできましたが、「町会費は納めてもらえますか」ということを不動産屋さんの方から言ってもらい、1月～3月分の会費はもらいました。3月末から4月初め頃にもらいに行きますが、「町会の回覧等が回ってくるのはよいが、役員はやりたくない」といわれます。小さい部屋なので新婚さんが多く、ワンルームがあります。役員はやりたくないが、町会費は払いますということです。ワンルームは150円、あとは250円ということでお金は払ってくれます。ただし、回覧を回したり、共同募金や助け合い運動等、お金を集金することは一切やりたくない、今の若い人はそういう人が多いです。それで困り、ほとんど不動産屋さんをお願いしていますが、近所の人とのふれあいをうまくやってもらわなければならないので、少し心配しています。

(神谷副部長)

・既存のマンションが町内会に入らなくて困ったということが沼田さんのところにもありましたが、その場合にも、お願いに行くときに、利用できるような資料ができればよいですが・・・。

(沼田委員)

・自治会運営のようなものができていますが、そこに行って話をするのは、世話人の町会長としていくのか、区でやってもらうのかどうかは悩んでいるところです。自治会ができているからそこでやってもらいたいということを区の方から細かく説明してもらおうか。

(神谷副部長)

・小さいところでもそのようなところはたくさんあると思います。何十所帯かというような。

(沼田委員)

・塚越4丁目にできたグランドハイツも全面的に町内会に入っていません。600～700世帯できるといいますが、半分位しか入っていません。それは建築の際に、家賃が少し高かったから下げたり、今度は賃貸にしてみようかと言ったりしていて、おかしくなってしまったようです。

(佐藤委員)

・町内会加入の促進という運動をしてよくなってきていることがあります。2つのマンションに対し、神明神社のお祭りや年末年始の行事の時に、住民に資料を出したところ、それを管理組合や親たちが見て、こういうことをやっているのですね、うちの子供たちも大分来ているので、行事ごとに寄付するから何とか参加できるようにしてほしいと言われました。しかし、寄付だけでは困る、手伝ってほしいといったところ、片方は自治会を作り、片方は管理組合で検討し、町内会に世話になるということで結論を出したらしいです。町内会では、いろいろな役員をやらなければならない、やってもらわなければ困るので、話し合いをしましょうという方向に進んできました。また、町内会加入の運動は区民会議から出ているので早く作ってほしいといったところ、自治会では、役所からも地域からも町内会に入れといわれているので、何とかしようということになり、皆このまま地域に世話になるばかりではまずいと思っ

(今井部会長)

・今の佐藤委員や沼田委員の話のように、地道な働きかけを積み重ねていくしかないんですね。その時に、必要な資料を行政と一緒に作っていき、やっていくしかないのでしょうか。

(佐藤委員)

・区民会議はそのスタートになると思います。ここで決めたことが、区の町会長たちや皆でやってくれるようになればいいですね。その資料を見て我々もやろうと区全体が町内会への入会をしようじゃないかというように動いていければ、町内会加入促進の運動の起爆剤になるのではないのでしょうか。

(庄司委員)

・PR冊子には、こぼれ話や事例集をつけて、文字だけではなく、図式でわかりやすく、イラストを入れる等の工夫があるとよいと思います。特に事例として、こういうことがあるから役員になったとか、入るきっかけになったことはこんなこととか、役員にはこんな苦労もあるが、楽しいこともあるということも伝えると、役員は嫌だという気持ちも、子どものためにやろうというように変わるかもしれない。大型マンションに対しては、冊子を作る前に早めに話をし、小型マンションの場合は、大家さんとの話し合いを早めにしていくことも必要だと思います。そのような情報は町会長さんから入ってくるのですね。そうすると対応がしやすくなります。

(佐藤委員)

・去年8月頃から、新しくできるマンションについては情報が入るようになりました。それまでは業者が一生懸命やっていました。今度は区の方からマンションが出来ると知らせてくれます。

(沼田委員)

・今出来上がっている1,000世帯あるサウザンドシティも、役員を決めるにあたってはめめたらしいです。

(佐藤委員)

- ・ 1,000 世帯で町内会を作るには大きいので、棟によって分けてほしいです。一軒家の 1,000 世帯より、マンションの 1,000 世帯の方が、互いに干渉したくない人ばかりなので、500 世帯位にして作ってもらえるとよいと思います。

(沼田委員)

- ・ 毎年自治会長が変わるので、御幸町連としてのいろいろな繋がりが切れて、慣れたと思うと新しい人になってしまいます。先日の御幸町連の会合でも、その自治会の会長が、顔も知らないのに上座に座り、古い人たちから文句が出ていました。

(今井部会長)

- ・ 先ほど、庄司委員からこぼれ話等を載せるような話がありましたが、PR の冊子を作り、それをずっと使っていくことで、そういうことはできないこととなります。市政だよりの区版とかにそういうコーナーを設けるのは無理ですよ。

(佐藤委員)

- ・ 副読本を作るのはいかがでしょう。地域の人に自分のところでこういう動きがあるということがあれば、管理組合や組合長にこういう事例があるから検討してほしいと持ちかければ、この事例を参考にという形でできるので、副読本でよいと思います。

(今井部会長)

- ・ 町内会でやっているイベント等も発信していくことができますね。

(庄司委員)

- ・ パターンに分けるとするのは面白いと思います。うちはどちらにしようかなと、具体的に道筋がわかるとよいと思います。

(今井部会長)

- ・ 副読本的なものの幸区版を作るのも一つの案ですね。

(松脇委員)

- ・ Word でもいいから、きちんとした PR 版で、参考事例を増やしていけるとよいでしょう。

(今井部会長)

- ・ 薄い副読本がいいです。

(佐藤委員)

- ・自治会を作っているところはたくさんあり、町内会に加入しているところもかなりありますので、そういうところをお願いして、自治会作るにあたりどうだったか、苦労はあったか、などを聞いて、まとめて出せばよいのではないのでしょうか。自治会をつくることを検討する人が必要となるので、調べて、自治会ができていないところに見せ、こういう形で作ったと見せてあげればよいでしょう。ほとんどのところは自治会を作っているの、器はできているといえはよいのではないのでしょうか。。

(松脇委員)

- ・副読本には、佐藤委員など困ったときの連絡先などを教えてあげればよいと思います。

(神谷副部長)

- ・もっとPRしなくてははいけないでしょう。

(菅野委員)

- ・うちの前の東芝、7階建て、全部で42軒、あそこは住宅地なので20mなのに、一番最初の計画書では20m40cmだったので、6階建てにしてほしいということで地元で2年間交渉しました。2年前の建てる前に、東芝と鹿島建設に日照権と電波障害の検査を提出させたところ、それに引っかかるところが72軒ありました。72軒を私が1軒ずつ歩いて、72軒で交渉団を作りました。道路にトラックを止められないようにしたり、家の前を40mの植木の緑の塀にさせたり、立てる前に東芝と鹿島建設に交渉して文書にしました。それには町会と必ず相談するという項目を入れさせて締結しました。実際は、最後にまとめる時に、道路や音は個別にどのくらいもらうかということになると72軒はまとまりませんでした。一人でも反対者がいれば、各人で交渉しようということにしましたが、交渉できないときは自分のところに来れば口をきいてあげるという形でやりました。

(佐藤委員)

- ・そこは町会に入りましたよね。そういうことがあると、町会に入るんです。

(菅野委員)

- ・反対する場合でも、建設会社と全体的な問題では交渉しません。問題が起きる部分では交渉しますが。うちのよう、自分の家の前は緑の塀にしなければいけないとか。ただ、街灯だけは失敗しました。高さが低いので、植木が大きくなり、街灯の役割をしなくなりました。あと1mくらい高くしておけばよかったですが、足元が暗くなると思い低くしたことが失敗しました。

(沼田委員)

- ・町内会費は入ってくるのですね。

(佐藤委員)

- ・入ってくれば良いでしょう。

(菅野委員)

・そういうものは建てる前に建設会社と交渉すると、スムーズに条件に入れて売りに出させることができます。

(佐藤委員)

・これからのものはそうでしょうが、既に建っているマンションが問題です。

(沼田委員)

・今、新川崎の操車場の跡地の作っているマンションは、どのような感じでやっているんですか。

(事務局)

・日吉出張所の方で説明会に出向き、町内会の概要等を説明しているようです。一番新しいマンションは、条件として入れさせることが難しいと聞いています。

(沼田委員)

・もう出来上がっているところもありますが。

(佐藤委員)

・長谷工がやっているのは入っていますよね。あれはまだ募集していないのですか。新幹線の駅の近くの。

(事務局)

・今募集をかけ始めたところのようです。入居説明会があるので、そのときには日吉出張所の職員が出向き、説明しています。

(今井部会長)

・加入率を高めるということでいろいろなご意見をいただいておりますが、それとは別に幸区はすごいと思います。地域のつながりや町内会活動が盛んに行われていることを、今まで知らずに来てしまいました。神明神社のことなどいろいろな活動を一生懸命やられているので、もう少し情報発信していかないと見えてこないのではないのでしょうか。私も10数年住んでいますが、素晴らしいことをやられているので、それをもっと発信していった方がよいと思います。この前も神明神社に行きましたが、12時過ぎから年越しのおそばなどいろいろなことを町内会の方がお手伝いしていました。「ここはこうやっています」という文字ばかりではなく、実際に楽しそうにやっている風景や何かをふるまっている様子やお祭りでおみこしをかついでいるところなど、視覚に訴えていくと伝わりやすい気がします。歴史を書いたものなど区の方で結構だしていると思います。それ以外にも、月日にこのようなイベントをやりましたというように視覚に訴えるような発信の仕方を考えたらよいのではないのでしょうか。

(佐藤委員)

・地域のことなので自分たちはPRしません。年末年始の行事であれば、「ここでは餅をだすよ」「そばだすよ」ということは区政だよりにのせるのでしょうか。

(今井部会長)

・市政だよりには出ません。

(菅野委員)

・地元の方は回覧板でしょう。

(沼田委員)

・うちの方では、2月3日に行われる節分祭も掲示板に出し、サウザンドシティにも掲示板があるので出したりしています。節分はやっているところとやっていないところがあります。

(松脇委員)

・区民フォーラムではちょっとしたコーナーにそういう写真を展示して、その写真を市政だよりでも伝えればよいのでは。

(今井部会長)

・そういう紹介のコーナーが市政だよりにひとつあってもよいと思います。区民フォーラムで写真を展示するのもよいですね。長年やられている地域の方は皆知っていますが、マンションに新しく入居してきたり、引っ越してきた方は知らないなので、そういう方々にどのように伝えていくかが問題ですね。

(沼田委員)

・うちの方でも予算があるので、大勢来られても困ってしまいます。豆をどのくらい配るのですかと聞かれますが、700作って8万円かかります。だからといって、お金が入ってくるわけではありません。

(松脇委員)

・楽しさを伝えるだけですから。

(沼田委員)

・地域の人に塚越の神社で何時から豆まきやっていると、宣伝しすぎるとかえって・・・。

(今井部会長)

・新しく町内会に入ってもらえれば、町内会費も入ってくるからよいのではないのでしょうか。

(今井部会長)

・神明町でふるまったのは町内会館でやっていましたが。

(沼田委員)

・町内会館でやっても神社でやっているから、予算が違います。

(菅野委員)

・鹿島神社の31日のそばは、神社とも町内会とも違います。鹿島田町には昭和会というのがあり、そこがお金を出し、そばを作り、配っているので町内会は文句を言えません。

(神谷副部会長)

・お金のでるところがどうのという問題ではないですよ。

(沼田委員)

・神明神社も31日には相当集まります。豚汁や振る舞い酒をやっていますが、町内会の主催ではありません。古川町内会の子どもが来れば、2丁目の町内会などあちこちから来ます。宣伝で多くなってしまうとかえって困ってしまいます。

(庄司委員)

・私は日吉地区の方なので、実際には見たことがありません。小向の獅子舞についても、いつやっているのかは知りません。市民ミュージアムで見て、こういうのがあるんだと知りましたが、幸区内で知られていないところはかなりあります。ホームページで「web川崎」という、市民活動センターで活動している人たちがいて、ホームページのサポートをしています。各区の100選の写真を載せるということで、これを追加してほしいと書きました。以前、幸区の70周年のときに70選というのをやりましたが、そういうものを募集してPRすると、本題とは関係ありませんが、写真展もよいかもかもしれませんね。

(今井部会長)

・振る舞う話になると、お金がどうしたこうしたという話になるので、まちづくりのヒントになるような、地域のつながりを深める、コミュニティという意味での何かがあれば・・・。

(庄司委員)

・プラスの魅力を町内会のホームページにつなげたり、見られるようにしておけば、こんなものがあるんだということで、次につながるかもしれないですね。

(今井部会長)

・視覚に訴えるというのはいいことですね。

(神谷副部長)

・南河原中学区の地域教育会議は、全市で年に 1 回発表がありますが、うちは地域の魅力の写真を公募しています。自分たちがお祭りに出た時の様子、楽しい遊び、竹でそばを食べているところなど、大人だけの目線ではなく、子どもたちの目線など、いろいろな目線から町内の面白いところ、魅力が出てくると思います。

(佐藤委員)

・誰がだしているんですか。

(庄司委員)

・web 川崎の人で、メールでお願いしたら、写真を撮りに行きますと言ってくれました。

(今井部長)

・写真をくださいというのはおかしいし、撮りに行くといってもすべて撮りに行けないし。できればお気持ちのある町内会の方が撮って、それを送ってもらえれば載せられますね。幸市民活動懇談会にメールで添付してもらえればすぐに載せられるので、そういうお気持ちのある方がいれば対応できます。

(神谷副部長)

・町内会のホームページができるので、そういう活動を紹介できるようにしてもらえれば。

(今井部長)

・若い子は、携帯で撮って送ってくれればいいですね。

(神谷副部長)

・そういうところがあれば、町内会も利用できますね。新しい情報っていうことで。

(佐藤委員)

・今作るホームページは、そういうところまでは入れないですね。

(事務局)

・今 66 町会・自治会あり、そのうちの 2 町会が各ホームページをそれぞれで作っています。今お話があったように各町会でホームページを作れば、催し等を入れることができます。いずれは 66 町会・自治会がすべてここにリンクできれば一番よいとは思いますが。ただし、各町会・自治会で作っていくのはなかなか難しいです。

(神谷副部長)

・3つの町連の人たちが、ひとつずついろいろな形のものを持てれば、お互いに切磋琢磨できるのでは。

(佐藤委員)

・町会の人でもホームページそのものがよくわからない人もいるから。

(庄司委員)

・町会の中には得意な人がいるので、そういう方を引っ張りだして・・・。

(神谷副部長)

・日吉の中でもいろいろとやったら、子ども、大人、年寄りが集まれる場所として、全国から見学者が来るほどになったといっていました。

(佐藤委員)

・あれはお金を使いすぎましたね。ホームページ作ってと言われて、一人で作ってしまいました。

(神谷副部長)

・他から来てもいいのですが、ちょっと簡単には来れない場所にあります。小倉はどこにあるかと聞かれて、「こういうところにあり、バスで行くところ」と説明すると、駅の西口の方のおばあちゃんが「いけないよねえ。この辺に作ってちょうだい」と言われたことがあります。

(今井部長)

・66の町内会のうち2つの町内会でホームページを作っているということでしたが、全部の町内会が作るにはまだ時間がかかるだろうし、個々に作るのは大変ですよ。とりあえず、携帯のカメラやデジカメを持っている方は絶対一人くらいはいると思うので、さいわいコミュニティサイトに載せて、視覚に訴えていただきたいですね。

(佐藤委員)

・それは、回覧で回しているわけではないですよ。

(今井部長)

・回覧もしているし、訴えてもいます。そういうことができるということを知っていただかなければ。幸タウンカフェ通信でも回覧しています。

(佐藤委員)

・そういうニュースがあれば、こちらに言えばいいとか、こういうのは町連ではできないからここに連絡をくださいと教えてもらおうといいですね。元日みこしを新聞に出したところ、新聞を見た人は元日からやっているのは知らなかったと言いますが、もう3年もやっています。新聞に載せると仰々しいし、

そこでこんなことをやっていると教えてあげれば、好きな人は来ます。全部町会でやれということ、回覧を回しているのだからそれでいいじゃないかと思いますが・・・

(今井部会長)

- ・神明神社には、パソコンを習いに来ていた方がたまたま役員をやっていたので、呼ばれて行きました。それを動画にしてコミュニティサイトに掲載しました。写真をいただければすぐに掲載できます。ホームページを作っても、更新するのが大変なので、町内会がそれぞれ66作っても、動かすのは結構しんどいと思います。

今までの話としては、PR冊子を2種類、対象者別に作るということと、こぼれ話などを載せた薄い副読本のようなものを作るということが意見として出ました。事務局から、ホームページができつつあるという話がありましたが、それまではコミュニティサイトの方を活用していったらどうかという提案をさせていただきました。その他に、こういうことをやるとよいのではないかという意見、提案はありますか。町内会の問題で、ここを手伝ってほしいとか、こういうものがあるとよいなどといった話がありますか。行政からの配布物が多く町内会の負担となっている、町内会は努力しているのだから負担を軽減するために行政は努力すべきという話があったそうですが、そのへんについてはいかがですか。

(事務局)

- ・全町連の会合でもそのような指摘がありました。行政としても伝えたいことがたくさんあり、いろいろな部局からのお知らせがあるので、会議のたびに持っていく資料が膨大になるということです。御幸地区、南河原地区の町会長さんの集まりで、そのようなお話がたびたびあります。なるべくそれを回覧ではなく、広報掲示板で済ませることはできないかという意見がありますが、役所にはいろいろな部署があり、伝えたいこともたくさんあるので、一つに統合することは難しいです。

(松脇委員)

- ・大規模マンションへのPRのために、どんな内容を網羅した方がよいか、誰が主体的に作るかをもっと具体的に論議をしていった方がよいと思います。役所に任せるのだから、こういうものを作りますと教えてもらい、その時にこちらから意見を言うとか、具体的に内容を高めていかないと。ただ作りますだけでは・・・

(今井部会長)

- ・内容は、行政任せにするのではなく、盛り込んでほしい内容を伝えて、一緒に作っていくようにしなければなりません。内容の主体は町内会で、お金は行政に出してもらってもよいのでは。

(佐藤委員)

- ・内容については、今、地域振興課で作っているのだから、区民会議としてこういうものを入れてほしいというかどうかですね。

(松脇委員)

・たたき台を出してもらい、意見を言えるようにしてはどうでしょう。

(神谷副部長)

・たたき台が出た段階で、私たちも見せていただき、そこでこういうものを入れたいというように、具体的な意見を出していくというのはどうでしょう。

(今井部長)

・今話し合っていることをもっと具体化するのに、以前から思っていたが、このような会議でやるのではなく、もう少し話を詰めたりするネットワークというか、皆で話し合うようなそういう会議が一つあってもよいのではないのでしょうか。時間も長くかかりますし、いろいろな意見も出ますし、地域コミュニティや地域のつながりについては、長期に渡ってやっていかなければならないので、

(佐藤委員)

・区町連に対し、区民会議がやっていることを知らせることは、与えるインパクトが大きいと思います。区民会議は何をやっているのかという意見があった場合でも、区民会議は防災もやってくれた、町内会の入会のこともやっているということが分かったら、区民会議に対する認識が新たになると思います。そういう意味で、町連の副会長もいますので、意見を出してほしいと頼んで、具体的に煮詰めていけば、中身の濃いものができるのではないかと思います。

(今井部長)

・名前は別としても地域コミュニティ推進協議会という会を作り、区民みんなで話し合っていき、次はこういうことをすればよいとか、こういうことが町内会に負担がかかっているから解決するにはどうしたらよいとか、皆で話し合う場のようなものがあったらいいと思います。ここで話し合ったことがすべてではないので、もっといろいろな課題が出てくるかもしれません。例えば、先ほどの副読本でも、もう少し皆でアイデアをだし考えながら、ここにこういうイラストを入れたらどうかという話をするとか。行政にボンと任せるのではなく、皆で意見を出し合い作っていった方が、よりよいものができると思います。そういう推進協議会のようなものが、幸区に1つあってもよいのではないのでしょうか。

(庄司委員)

・実践部隊のようなものですね。

(今井部長)

・そういうものが幸区に1つあればもっと話が進むのではないのでしょうか。防災、防犯、ゴミの問題もあり、いろいろなことを皆でやっていかなければならないので。

(神谷副部長)

・あまり広げすぎても、まとまりがつかないかもしれませんね。

(今井部長)

・当分は、町内会・自治会の加入率を高めるにはどうしたらよいかということですね。具体的には副読本を作るために話し合う場ということでしょうね。

(松脇委員)

・まずは大規模マンションに焦点をあてた方がよいのでは。

(神谷副部長)

・町内会の会長さんたちも、区民会議の中に入っていますので、町内会連合会と一緒に必要な物は何かという検討をするくらいであれば、可能性はありますね。

(今井部長)

・このテーマばかりここで話しているわけにはいきませんよね。

(菅野委員)

・まちづくり委員会としては、区民会議から要請をもらいたいという感じがします。私たちは2年間、課題を討議してきているのですから。部会に集まった人が言いたいことを言って、その中で何を課題とするのでしょうか。この前作った防災の冊子も、あそこに出ていない自主防災協議会は、私が役員のところほぼすべてに歩いて挨拶して回り、こういうものを作りたい、作っていいか、もし防災協議会が作るのであればうちの方はやめますからというような根回しをしてから作りました。それにはものすごい労力と時間がかかっています。あの冊子の十倍くらいの原稿はあります。まちづくり推進委員会では、区民会議のほうからこのような課題が出た時に、検討して2年間かけて作るという作業をすることはやぶさかではないでしょう。来期の方がどう考えるかわかりませんが。

(今井部長)

・まちづくり推進委員会に作ってほしいと言っているわけではなく、町内会の沼田委員なりと一緒に、検討会のようなものを作ってはどうかという話をしました。

(沼田委員)

・私の方は塚越中学校区の自主防災をやっています。それに対してサウザンドシティと塚越1丁目、3丁目は合同でやっています。宣伝を兼ねて新聞記者も来るらしいです。隣のマンションは入っていないから、住民の活動を見せてやりたいと思い映画を作りました。下平間は下平間で自主防災活動を作っています。こういうことを町会でやっているということを、サウザンドシティや隣のマルエツの上のところの人たちに見せたり、入っていないところの町会に見せたいと思います。今話しが出ていたホームページ

を一つ一つの町会でやったら大変です。だから 3 つの町会でまとめてやっています。古川は古川でまとめてやっています。お祭りも塚越 1 丁目でも、塚越 4 丁目の子供たちも集まってやっています。豆まきもそうです。各町会で宣伝をやって人が来ていたらきりがありません。だから神社の行事としてやっているということにしています。

(今井部会長)

・見せ方や情報発信の仕方、こうしたらよいという具体的な話がでます。それをこの場だけにすると 1 か月に 1 度とか、次の課題に行ってしまうとできなくなります。声を聞いて吸い上げて、皆で実行していく会があってもいいのではないですか。

(佐藤委員)

・この運動は住民一人一人の大きな問題ではありません。集合住宅の人たちに、地域町内会や自治会を作ってもらい、町連と一体となって運動しようということなので、それほど細かいことではありません。一般の人に宣伝するというよりも、当面は大規模マンション、中小も入れろということですが、団地に対して、それぞれの地域にどの団地があり町会に入っていないのかということ調べてほしいということです。その時にどうして入らないのかということがわかります。塚越にはマンションがあり、こういう運動をしていることを知っているのかどうか、入会もしてくださいというように、それぞれ地域にフィードバックしていければいいと思います。それは町会長の仕事でもあります。資料さえ作ってくれば、当面はそれで加入促進の運動をしてもらいます。いくらやっても駄目だということになれば、何か欠陥があるのではないかということになります。私はこれをやれば、幸区で入っていない人の 8 割は入ると思います。そういうことに絞ってやったほうがいいでしょう。

(松脇委員)

・まず第 1 段階として、いろいろな問題を吸い上げてから、次に何をしようと考えればよいのでは。

(今井部会長)

・当面は対象者別の冊子を作り、副読本を作り、地道に大規模マンションに働きかけていくことに専念するということですね。

(庄司委員)

・そういう冊子を作る時には、私たちも意見を言えるようにしたいですね。町会長さんは忙しいけど・・・。

(佐藤委員)

・忙しいけれど、町会に入ってもらえるのであれば協力したいと思います。

(今井部会長)

- ・区民会議では、副読本を作っていくことに絞って報告をさせていただくということでよいでしょうか。出てきた意見や問題点を、どうやって整理して報告するかについてはいかがですか。

(松脇委員)

- ・取組2の方は、これはどのようにするのでしょうか。

(佐藤委員)

- ・取組2は企画の方で各町会に調査すると説明していました。町会長あてにアンケート用紙を作ってもらい、各町会長に送り、「あなたのマンションで町会に入っていないところがありますか。あったら書いてください。入らない理由も分ったら書いてください。」という形で、アンケートにより実態調査をさせてもらうと説明していたので、皆そのつもりでいます。実施するのは、地域振興課ですね。

(事務局)

- ・その前に、区の町連に対し、区民会議では今このような審議をしているということを、1回言わないと、いきなりという話になってしまいます。区民会議の取組という形でやりたいと思っています。

(佐藤委員)

- ・この間、日吉から南河原までの各町連の会議で説明したので、そういうことをやっているということにはわかっています。あの時は、区民会議の要望ですと言わなかったのが怒りました。区民会議が町内会への入会促進運動をしたいので皆さん調査させてくださいとなぜ言わないのでしょうか。役所が勝手にやっていると思われています。あくまで区民会議が提案しているといってもらった方がよかったです。もう一度改めてやるなら、そのように言ってください。

(事務局)

- ・まず区民会議でこういうことに取り組んでいるということを伝えないとまずいと思います。もしその中で区民会議の委員さんに出てきていただけるなら、そういう場を作ることもできると思います。

(佐藤委員)

- ・町会長さんで反対する人はいないでしょう。皆、困っているので。多摩川の河川敷のマンションも入っていません。あそこは地域との関連が少ないので。伊藤さんのところは、あの人が運動したから3つが入りました。今度新しくできるところは入ると思いますが、御幸はもうできてしまいました。2棟くらいはあるかもしれません。

(今井部会長)

- ・取組2についてはこの通りです。

(松脇委員)

・アンケートをやって、まとめられて、こんな状況ですと報告いただけるのはいつごろですか。

(事務局)

・町連の方に話をしていくタイミングが2月～3月までかかる感じなので、アンケートを回答していただく時間を考えると、そこから1か月はかかるので、数か月はかかるかもしれません。

(佐藤委員)

・急いでくれと町連に頼めば、嫌だとは絶対に言わないでしょう。自分たちのことですから。それで入会率が少ない、町会に入っていないのが多いと怒っているのですから。そのためには自分たちでも努力してもらい、町連には80%～90%入会するといえば急いでくれると思います。

(今井部会長)

・取組2についてはこのまま、「加入実態を把握する。加入者実態調査を実施する」ということでいいですね。

(佐藤委員)

・ここでは大規模マンションとっていますが、町会長から大規模のマンションだけ実態を調べてもらうのはどうかという意見がでました。入る、入らないは別として、入っていないという実態があるということ調べておくことは大変重要です。

(今井部会長)

・では、中規模も入れますか。

(石野委員)

・古市場に関してはほとんど中規模以下です。古市場の場合は、各建物の中で自治会を作っています。自治会長や副自治会長が毎月1回町会に出てきていて、それは全部つながっています。30～40の建物ばかりですから。ただ、それが住民にどれだけつながっているかは疑問です。古市場に関しては30以下が多いです。私の裏はワンルーム3階で15軒、ひとつの建物の中に15人です。ただ、こういう情報を伝える場所がなく機会がありません。今、いろいろな冊子を作るのはいいですが、誰が配るのでしょうか。おそらく行かないし、町会も入っていないから何も知らないし、ホームページに載せてもそれを見ているかどうか分かりません。年配の人が一人で住んでいれば何もわからない状況です。そういうところが結構古市場には多いです。大型ということだったので何も言いませんでしたが、そのようなことが問題になっています。

(今井部会長)

・取組2の表現を変えますか。実態調査に中規模くらいは入れた方がよいと思います。30くらいがほとんどです。

(佐藤委員)

・中規模の調査もやらないと意味がありません。

(今井部会長)

・では、中規模も入れてということですね。

(沼田委員)

・私のところで扱っているワンルームマンションは、8所帯と6所帯があります。8所帯の方の大家さんは、誰か全然わからず、不動産屋さんもわかりません。6所帯の方の不動産屋さんは知っていますので、町内会費をもらいに行ったら、6所帯だが年中出入りしているから3所帯分しか払わないし、回覧やいろいろなものは一切いらなさいといわれました。8所帯の方の大家はやっとわかったので連絡したら、東京にいて、町内会費をちっとも出してくれずあきらめています。

(石野委員)

・そういうのを含まないと町会の役目はありませんね。

(佐藤委員)

・一軒火事になったことがあります。家の中にゴミがいっぱいで、まわりも聞きつけて消しましたが、その大家に連絡しようとしても地域の人誰も知りませんでした。結局大家は東京の人で、すぐに飛んできましたが、今度からちゃんと連絡員をつくってくださいと言ったら、そうですねと言っていました。そういう人は会費も全部払っています。火事的时候は周りが気付かなければ全部燃えてしまいます。そういうのは困るので、町会に入ってもらい、連絡をちゃんとしておかないといけません。そういう事例を挙げてもらえばよいと思います。

(今井部会長)

・こぼれ話に入れた方がよいですね。取組2は中規模マンションという表現をいれるということですね。報告者の件ですが、前は私と神谷副部会長と松脇委員でやらせていただきました。今回はどのようにしましょうか。

(松脇委員)

・実際にやられる方がやるのが一番いいのでは。

(今井部会長)

・では、流れが一緒なので同じメンバーでやらせていただきます。部会報告の最初の説明は本日いただいたご意見をもとに事務局と正副部会長と報告者で整理するということですのでよろしいでしょうか。整理した内容は事務局から郵送していただき確認いただきます。もう一度、部会はやらなくて大丈夫ですか。

【一同賛成】

(今井部会長)

・それでは、もう一度部会をやるという案はなしで、そのまま区民会議で報告しましょう。

(佐藤委員)

・今度はまとめなければいけないんですか。

(事務局)

・特にそういうことはありません。まとまった時点で報告していただければよいです。

(佐藤委員)

・いつまでに報告するということはないわけですね。ずっとこの課題をやってもいいのですか。

(事務局)

・1期は2年間となっています。区民会議は、1年目は3回、2年目は4回くらいを予定している。通常4回ペースでいきたいですが、1年目は公募をかけたりますので、開始が7月からになります。よって、1年目は3回で、2年間で7回程度でしょう。

(佐藤委員)

・また、新しいテーマでやるのですか。

(事務局)

・新しいテーマとは、このテーマが終わって次のテーマということでしょうか。2月に全体会議があり、次にいくときに新しいテーマに入ります。

(佐藤委員)

・全体像が出来ないうちに次をまたやってしまうのですか。

(神谷副部会長)

・今のところはまだ、途中ですが。

(佐藤委員)

・まともに終わっていないのに、次のテーマに入るのですか。

(事務局)

・ひとまず今、この部会のご意見のひとつ目として、大規模マンションに対する働きかけが必要だということがまとまりました。もう一つは、調査をしなければいけないということがまとまりました。何をしなければいけないのかという方向性はまとまったので、その考え方はそれでよいと思います。その次のステップとして、次に何を議論するのかということがあれば、このテーマで続けていくこととなります。そこをどうするかということです。次に何を続けていくかということがあれば、それをテーマにしていくし、ここでひと段落、大規模マンションへの働きかけと調査を行うということであれば、その結果どうしていくのかは報告の中でやっていけばいいと思うので、議論ではなくフォローアップという形で報告させていただければと思います。

(今井部会長)

・地域コミュニティの推進ということで、ひとまずこれっきりにして、次のテーマに行くか、あるいは、地域コミュニティといっても大規模マンション、中規模マンションに絞っているの、先ほど、石野委員から古市場の話もあったので、今度は小規模の方で話し合っていくのか、それは皆さんにご意見をいただきながら決めていきましょう。大規模マンションに向けての取組については、これでまとまりましたが、次からはどのテーマにするかについてご意見をいただきたいのですが。

(石野委員)

・町内会への加入率を上げるための検討なので、大規模マンションだけでは片手落ちだと思います。小規模、それ以外の所も検討しなければ、わからないままのところが多いと思います。それらをどのように掘り起こしていくのかということだと思います。

(今井部会長)

・方策が違ってきますね。

(石野委員)

・検討すれば違ってくると思います。

(松脇委員)

・大規模についてもクオリティというか内容を充実させるため、副読本をもう少しまとめてやらないと達成感がありません。HPを作ると決まっただけではなく、こういう内容にするとか、実際に上がるところを確認してから終わった方が達成感があると思います。

(石野委員)

・まず第一に大規模マンションの件を完成させたほうがよいですね。

(神谷副部会長)

・どれも出来上がっていないので、出来上がるまでの間も私たちがやらなければならないことが残っています。次に新しいテーマに入ると、両方重ねてやってはいけません。

(佐藤委員)

・私は前回やらせてもらって、自転車の安全対策をやりましたが、すごく空虚な気持でした。実際にあれがどうなっているのかまったくわかりません。提言したものの、現実問題としてどう進んでどうなっているのが全くわかりません。言いつ放しばかりで、言うだけ言っておけばよいのでしょうか。どんどん次に行ってしまうと、言うだけ言ったものは後で報告があるにしても、実際に我々がチェックできるものがないと。区民会議の性格上そうなのかわかりませんが・・・。

(松脇委員)

・ここで終わりじゃ、確かに虚しいですね。

(庄司委員)

・1期の方たちも終わる時にかなり提言しましたが、それが本当にこの後どうなっていくのか実際に誰が担っていくのかというところまでなかなか踏み込めなかったというのはありましたね。

(神谷副部長)

・前の詳しいことはわかりませんが、昨年終わった方からそういう話を聞かされてはいました。

(松脇委員)

・調査することは、汗はかくが、それほどお金はかかりません。これはいい事例だから、内容まで入って、ベースのところまで作りあげられたらいいと思います。

(今井部長)

・副読本を作ることや調査を見届け、フォローアップしながら、石野委員からお話がありましたように大規模、中規模だけでは不十分ではないかという意見もありましたので、今度はターゲットを変えてももう少し検討するというところでよろしいでしょうか。

(佐藤委員)

・調査表の中に町会長さんからその他の意見を書く欄があれば、今のような意見は出てくると思います。

(石野委員)

・この2年間に町会加入率を高めたという1本でもあればよいのではないのでしょうか。まとめてやれば、途中で切れるよりいいと思います。前期では途中で切れたものがたくさんあります。この事業は継続しないとわれてがっかりしました。立ち上げて、最後までちゃんとまとめることも必要だと思います。

(今井部会長)

・第1期の方からもそういうご意見、感想がでていますので、もう少し突っ込んで、見届けながらやっていくということによろしいでしょうか。

(庄司委員)

・大型・中型マンションの町会への加入率を高めていくことに焦点を当てていますが、町会と区民会議が協働でやれそうな、区や町の魅力をどうやって高めていくなども含めて話し合えればいいのですが。

(菅野委員)

・区民会議と町会は性格が違うので、水と油を一緒にしようとしても無理です。私も区民会議は出ていますが、まちづくり推進委員で山のように仕事を抱えています。

(佐藤委員)

・町内会の会長たちに、町内会への加入促進運動を取り上げれば、区民会議と性格が違うよなんて言う人はいなくなりますよ。よくやっている、頼むよと言われるですよ。運動してきたことによって100軒でも200軒でも入る人が増えてくれば、これは大したものだというように絶対になります。委員長が言われたように、そのような運動をすれば区民会議はいいことをやっている、協働して我々もこういう運動をしようかと出てきます。そのためには続けないとはいけませんね。

(今井部会長)

・庄司さんがおっしゃられた幸区の魅力とかは、地盤は町内会だと思うので、かぶる部分があります。町内会の方を通じて積み上げてきたものなので、そういう活動は欠かせないので、かぶっていく可能性は十分にあります。

(石野委員)

・意見として聞くことは必要ですね。それを参考にしていけばよいと思います。

(今井部会長)

・時間もそろそろなので、事務局からなにかありますか。

2. さいわい区民フォーラムについて

(事務局)

議題2を説明。

(沼田委員)

・コンサートをやるのですか。

(事務局)

- ・演奏と自治会の活動などを話してもらおう予定でいます。

(沼田委員)

- ・音楽をやっていただくのはいいですが、自治会についての話をするのはいかがでしょうか。

(今井部会長)

- ・事務局はそのへんのところの調整をお願いします。他にありますか。

(沼田委員)

- ・会議の開始時間が6時となっていますが、7時からなら食事をしてきたり会社帰りにそのまま来られるのではないのでしょうか。

(石野委員)

- ・私も5時に帰ったため、食事をする時間がなく来てしまいました。

(今井部会長)

- ・では、6時半から始めるとうことでよろしいですね。それでは今日の部会はちょうど時間なので、終わらせていただきます。ありがとうございました。